



# ～ミタクリ通信～ 第11号

2008年11月1日  
発行所：三谷ファミリークリニック  
発行人 / 巽欣子・三谷和男  
〒593-8324 堺市西区鳳東町4丁354-1  
電話 072-260-1601 FAX072-260-1603

## こんにちは！ミタクリ開設一周年記念号をお届けしますね。

比較的暖かい日々が続いていましたが、朝夕はひんやりとしてきました。もう晩秋、冬支度をはじめないといけない季節になったんだなあ、と思います。さて、皆さまのミタクリも満1歳を迎えました。「この、ピリッとする冷気を感じると、開業した頃を思い出すね。」と巽先生。今月は、初心に戻って紙面をつくってみました。また、いろいろとご意見をお聞かせくださいね。

### 【ニュース】

#### 1 今月の診療担当医師の変更：

11月の診療は、予定通りです。変更はありません。

#### 2 第1回ミタクリセミナー：

11月15日（土曜日）午後2時から、開業一周年記念として「操体」をテーマにセミナーを開催します。講師の北村翰男（きたむらふみお）先生は、東洋医学会の場をはじめ旧くからご指導をいただいていた先生で、「痛みを少しでも楽に」を軸に「操体」に取り組んでこられました。場所は堺市立西文化会館7Fセミナールームです。入場は無料です。窓口で予約を受けつけておりますので、奮ってご参加ください。お待ちしております。

#### 3 お正月休みのこと：

今年のお正月休みは、12月28日（日曜日）～1月4日（日曜日）までの8日間です。例年よりも長いお休みになりますので、マイカルテの必要な方は、早めにお申し出ください。もしも、の時に受診したい病院がありましたら、遠慮なくおっしゃってください。

#### 4 インフルエンザ予防接種：

流行時期は毎年1～2月がピークですが、今年はずでに中百舌鳥、高石、泉大津で患者さんが出ています。予防接種の効果が現れるまで約2週間程度かかり、その効果が十分に持続する期間は4～5か月間とされています。より効率的に有効性を高めるためには、12月中旬までに予防接種を受けるようにしましょう。

【料金】 一般一回 2,500円

堺市在住の65歳以上の方 1,000円

（ただし平成21年1月31日（土）まで）

#### 【接種回数】

13歳未満：4週間の間隔をおいて2回接種。

13歳以上の方：原則1回接種。

#### 5 幸せの四つ葉のクローバーのしおり：

巽先生の娘さんが、ミタクリに来られる皆さんに一周年を記念してとりためた四つ葉をパウチして、しおりを作ってくれました。数が限られているので「くじ引き」だそうです。外れた方、申し訳ありませんが、まだ作成中だそうですので、次の機会をお楽しみに！！もう一つ、巽先生から、学童保育の署名もよろしく、とのことです。

### 【外来担当医一覧 2008年11月現在】

予約電話番号：072-260-1601

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00-11:00)	巽	三谷	巽/三谷	巽	巽/三谷	三谷
午後 (14:00-16:00)	巽(予約)		巽(予約)	巽(往診)	巽(予約)	
夜診 (16:30-18:30)		三谷	三谷		三谷	

## 【三谷ファミリークリニックです FAQ → よくいただく質問をまとめてみました】



**【ファミリークリニックとは、どういう意味ですか？】**

「ファミリークリニック」という名まえは、「家庭医」を意識して名づけました。では、家庭医とはどういった役割を担うのでしょうか。難しくいえば「社会の健康問題を老若男女、性別、臓器別を問わず予防・診断・治療・リハビリにわたるまで、さらには心理・社会・倫理的な側面まで配慮しながら健康問題の身近な相談役となれる医師」、簡単に言えば「どんな健康問題にも相談にのれるかかりつけ医」です。



**【ロゴマーク 三谷ファミリークリニック と待合室の絵  の意味**

を教えてください】ロゴマークは、西洋医学と東洋医学の融合、巽と三谷のパートナーシップ、クリニックのスタッフと皆さんとの調和など、力を合わせて世の中を明るくしたいなという希望がこめられています。また、この絵はピカソの作品（青年の踊り）で、患者さんの健康は平和な時代に生きる人と人とのコミュニケーションの中でつくられる、という信念の下、人の輪の中心に平和の象徴である鳩がいるこの絵を選びました。

**【入院が必要なときは、どうすればいいですか？】**

クリニックで治療困難となればスムーズな病診連携（11月現在、市立堺病院、耳原総合病院、ベルランド病院、馬場記念病院の提携医療機関になっています）で専門医療機関へ紹介するのも重要な役目と考えています。必要な方には「マイカルテ」をお作りしています。ここには、患者さんの病状や検査データが一括して保存できるようにしてあり、このカルテがそのまま紹介状になります。

**【往診はしていただけますか？】**

基本的には定期的な往診のみを行っています。今のところ地域を限定させていただいていますので、どうぞご相談ください。在宅医療は家庭医の大切な役割です。往診用の心電図も用意しています。介護スタッフとも緊密な連携のもとに安心して在宅療養ができるように進めてまいります。

**【スタッフは何人おられますか？】**

改めてご紹介させていただきます。左から看護師の幸山弘子、若子美千恵、医療事務・管理栄養士の岸本美加、医療事務の山内牧子、三鍋江里、松本治代子です。私たちはよきスタッフに恵まれて仕事ができることを幸せに思っています。



**【巽先生と三谷先生はご夫婦ですか？】**巽が漢方の勉強に三谷のもとを訪れ、指導を受けました。現在は基本的な医療観の一致した同志ですね。夫婦・兄妹・ましてや親子（ある患者さんに聞かれました）ではありません。

**【クリニックではどんな検査ができますか？】**最新の血液検査機器を導入しています。血糖・HbA1cは1滴の血液で判定でき、肝機能や腎機能、皆さんの関心の高いコレステロールや中性脂肪、またリウマチ因子も30分程度で結果が出ます。生活習慣病の中核である糖尿病・高脂血症・脂質異常症はもちろん、慢性肝炎や腎疾患、関節リウマチの方にもお役に立てることができます。画像検査では、超音波エコーで腹部はもちろん頸動脈の評価、PWVとあわせて動脈硬化の評価を重要視していますので、ここでも糖尿病・高血圧を中心とした慢性疾患管理に力を発揮します。もちろん、レントゲンや心電図・肺活量の測定（スパイロ）といったプライマリな疾患に対応できる検査も充実させています。最近話題の慢性閉塞性肺疾患（COPD）が疑われる方にはスパイロを受けていただき、肺年齢を算出させていただいております。そして、このCOPDの予防・治療には禁煙が絶対条件です。そこで、クリニックでは保険で禁煙外来も実施（巽外来・要予約）しており、これまでやろうやろうと思ってもできなかった禁煙を、無理なく達成していただけるように指導をしています。